

令和2年度第4回 岐阜県青少年育成審議会 議事録

日 時	令和3年2月19日(金) 14:00~16:00
場 所	ウェブ会議(岐阜県防災交流センター 2階災害対策本部室)
出席者	<委員> 16名 (欠席委員4名) 春日委員、田口委員、玉腰委員、田村委員、若岡委員、川瀬委員、掛布委員、成田委員、室崎委員、深谷委員、横井委員、広瀬委員、寺田委員、朝田委員、磯谷委員、杉山委員 <県> 10名 西垣環境生活部長、河田私学振興・青少年課長、佐藤少年課長、佐藤学校安全課企画監 他

会議の概要

- 1 開会
- 2 環境生活部長あいさつ
- 3 条例の規定に基づく報告事項
 - (1) 有害興行の緊急指定について
 - (2) 有害図書類の指定について
- 4 条例の規定に基づく審議事項
 - ・第4次青少年健全育成計画について
- 5 意見交換
- 6 閉会

議事の概要	
発言者	発言
	<p><議事録署名者の指名> 会長から本日の議事録署名者に、掛布委員と成田委員を指名した。</p> <p>【条例の規定に基づく報告事項】</p> <p><有害興行の緊急指定について（報告）> 有害興行の緊急指定について、事務局から資料に基づき報告した。</p> <p><有害図書類の指定について（報告）> 有害図書類の指定について、事務局から資料に基づき報告した。</p> <p>【条例の規定に基づく審議事項】</p> <p><第4次青少年健全育成計画について> 第4次青少年健全育成計画について、事務局から資料に基づき説明した。</p> <p><意見、質疑等></p>
掛布委員	<p>コロナ・ハラスメントという用語の意味を説明して欲しい。</p>
事務局	<p>コロナウイルスの感染をきっかけとしたハラスメントである。一般にテレビ等で報道されているものと同じ意味で使用している。計画では73ページに記載をしている。</p>
掛布委員	<p>ハラスメントは広い意味がある。コロナを理由とする差別、不利益な取り扱い、コロナを理由としたいじめ等、言い換えたほうが良いのではないかと思う。</p>
事務局	<p>定義について、言い換える方向で担当課と検討したい。</p>
田村会長	<p>分かりやすくするため、注意書きを入れる、表現を工夫する等検討したいという回答である。</p>
若岡委員	<p>1つ目は、子どもの自殺についてである。2月16日の新聞に、中高校生の自殺について2020年は過去最多の479人であり、小学生の自殺者については14人というデータもあったが、本計画41ページのデータには0人と書かれている。どちらも厚生労働省のデータをもとにしておりとあるが、ずれを感じる。また、増加している子どもの自殺者について、県がどのように対応していくかについて計画から読み取れなかったため、教えて欲しい。</p> <p>2つ目は、子どもの貧困についてである。今年度は特に子どもの貧困状況は厳しく、</p>

事務局	<p>収入が半減し電気が止められる、その日に食べられるものが無い家庭などがある。母子家庭の支援、困窮大学生への支援、ひとり親家庭の支援など生活困窮者への支援を県としてどのようにいくのかを教えて欲しい。</p> <p>3つ目は、家庭教育支援員のことである。私が普段活動するなかで、学校、民間、自治体で連携するようにしているが、教育力、経済力が無い家庭については、家庭に入ってサポートしていくことが重要だと思う。計画には家庭教育支援員という記載があるが、その取り組み等について詳しく教えて欲しい。</p> <p>1つ目の自殺の状況について、本計画のデータは、小学生、中学生という校種別ではなく、9歳まで、10代、20代という年齢別のデータである。小学生についても高学年であれば10代に換算されるため、その点において新聞のデータとは異なる。</p> <p>2つ目の子どもの貧困問題について、様々な事情で家庭での学習が困難であり、学習支援が必要な子どもがいることを認識した。教員を志望する大学生や教員OBなど、地域住民の協力を得て支援を行っていききたい。その他、スクールソーシャルワーカーの配置や、市町村との連絡会議等を用いた情報交換を行いながら、支援をしていきたい。</p> <p>3つ目の家庭教育支援員については、環境生活政策課が担当している。市町村・地域の関係部署と連携を図って取り組んでおり、実践例を県内に広める取り組みを行っている。</p>
田村会長	<p>3つ目の家庭教育支援員は、数年前から5つ6つの市町で活動を実施しており、現在は県下各地に広げようとしている。</p>
成田委員	<p>第4次岐阜県青少年健全育成計画は大変参考になった。虐待、いじめ、貧困等から不登校やひきこもりとなり、大人になっても立ち立できず、自殺も多いという点に気づくことができた。</p> <p>スマホやインターネット関係については、もっと家庭教育学級等で勉強をすることで、充実して使えると良いと思った。</p> <p>計画全体については、施策だけでなく支援もされると良いと思う。</p>
事務局	<p>支援について、若岡委員のご質問にも関係するが、新型コロナウイルスの影響を受け、現在各課では新しい施策が検討されている。ただ、確定しているわけではないため、本計画には記載できないという事情がある。</p>
室崎委員	<p>情報モラル調査については、具体的な調査項目を記載したほうがよい。</p>
事務局	<p>38ページにある「ネット依存傾向を尋ねた8項目のうち、」の8項目が何かというご質問でよいか。</p> <p>これについて、確かに分かりづらいため、注釈に加えたいと思う。</p>

田村会長	室崎委員、よろしいか。
室崎委員	はい。
事務局	「コロナ・ハラスメント」については、県がストップ・コロナハラスメント宣言をしているので、文言はそのまま、注釈を付けたらどうか。
掛布委員	注釈のイメージが湧かないが、どのようになるのか。
事務局	表題はそのままとしたうえで、コロナ・ハラスメントとは、という形で注釈を追加したいということである。 例えば38ページのネット依存についてであるが、米印で注釈を加えている。このような形で注釈を追記したい。
田村会長	本日いただいた様々な意見については、先ほどの発言のように修正をしたい。最終的な確認は委員を代表して私に一任いただき、これをもって答申することとしてよろしいか。 (異議なし)
田村会長	本計画に従って、これから県庁各課で施策を進めていくことになる。 今後ともいろいろな立場でご協力をお願いできればと思う。ご意見をいただきありがとうございました。